

伊藤 愛のオリヴィエ・メシアン生誕100周年記念コンサート

2008年11月8日(土) 午後7時(午後6時半開場)



伊藤 愛 Plofile

東京音楽大学附属高等学校を経て、グラーツ音楽大学に留学。在学中にオーストリア政府より奨学金を授与される。卒業後、アントン・ブルックナー音楽大学にてピアノ演奏科と室内楽科の修士課程を最優秀の成績で修了し、Master of Arts(芸術修士)の学位を取得。同大学のオーケストラと共演した他、オーストリア各地の音楽祭やコンサートに、ソロ、室内楽、歌曲伴奏で出演。20世紀以降の音楽にも積極的に取り組み、現代作曲家の作品の初演、武満 徹シリーズコンサートへの出演、エルンスト・クレネクの作品のCDレコーディングなどを行っている。これまでに、弘中 孝、宮崎和子、エルザ・コロディン、ティル・アレクサンダー・ケルバー、トーマス・ケルブル、ヨハネス・マリアン各氏に師事。



オリヴィエ・メシアン(1908～1992)

20世紀フランスを代表する作曲家。1992年に亡くなるまで生涯フランスで過ごした。作曲家として多数の作品を残す一方、ピアニストやオルガニストとしても活躍した。また、「音を聴くと対応した色が見える」という特殊な体質を持っていたため、色彩感覚を重視した曲が多い。音楽技法面では、オリジナルの旋法を編み出したり、インドのリズム、ギリシャの韻律を取り入れたりしながら、独自のスタイルを築いた。親日家としても有名であったメシアンは、たびたび夫人と共に、日本を訪れており、東京だけでなく、都市部から田舎まで様々な場所を訪れている。軽井沢を訪れた際には、ホトギスを初めとする日本の鳥の声を採譜した。この他に奈良、山中湖、宮島なども訪れており、雅楽の演奏にも接している。

クロード・ドビュッシー(1862～1918)

フランスを代表する作曲家。長音階、短音階以外の旋法の使用、機能と声にとらわれない自由な和声法などにより古典派、ロマン派音楽から20世紀の音楽への橋渡しを行った音楽史上特筆すべき重要な作曲家である。

武満 徹(1930～1996)

現代音楽の分野において、世界的にその名を知られ、日本を代表する作曲家。



【チケットのお取り扱い・お問合せ】

西宮市プレラホール TEL 0798-64-9485
(プレラにしのみや5階)

受付時間 午前9時～午後8時

- ◆電話予約をお受けいたします。
- ◆予約後は、一週間以内に西宮市プレラホール5階受付でご精算ください。

